

生徒が主体的に学びを深め合う授業構成の工夫

教材について

① 「いのちの花プロジェクト」
主題【命の価値】
 動物愛護センターで殺処分された動物の骨を使って花を育てるプロジェクトの話

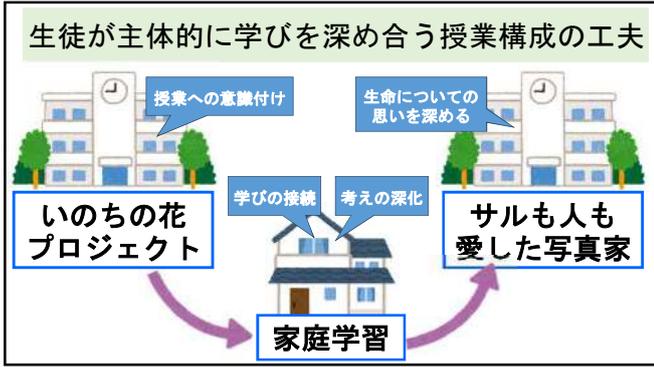


② 「サルも人も愛した写真家」
主題【命あるものとの向き合い方】
 サルを愛して移住した写真家が、害をなすサルの殺処分の協力を依頼される話



出典：「中学道徳3 とびだそう未来へ」p.81、113（教育出版）

時	主題・教材名	主な学習活動	指導の工夫
1	「命の価値」 いのちの花プロジェクト	○話を讀んだ感想を共有する。 ○命の差について考える。 ○命との向き合い方について考えをまとめる。	・「命の差」について事前にカード作成
課題		①授業で書いた感想を共有する。 ②友人の感想や、周囲と話したことから考えたことをまとめる。 ③次時の教材を読んで、「問い」を考えておく。	・提出箱の共有（他者参照）
2 3	「命あるものとの向き合い方」 サルも人も愛した写真家	【第2時】 ○「問い」の共有、精選をする。 ○興味がある「問い」について考える。 【第3時】 ○主人公の葛藤を考える。 ○アンケートで中心発問を決定する。 ○これから命あるものどう向き合っていくか考えをまとめる。	・「問い」を立てる学習活動の展開 ・共有ノートの活用 ・思考ツールの活用



生徒が主体的に学びを深め合うための学習活動の工夫

(1) 「問い」を立てる学習活動

(2) 学びを深め合うための交流し考える学習の工夫

- ・ 提出箱の共有
- ・ 共有ノートの活用
- ・ 思考ツールの活用
- ・ フレーズ集の提示



(1) 「問い」を立てる学習活動

① あなたは、「命」に差はあると思いますか。

② あなたは、「命」に差があってもいいと思いますか。

【「命の差」について】

- ・授業開始前に作成
⇒考えが揺さぶられ、**集中して「命」について考えようとする**
- ・授業を通して
何度も振り返る
⇒道徳科の授業で、**もっと考えたいという意欲が喚起される**

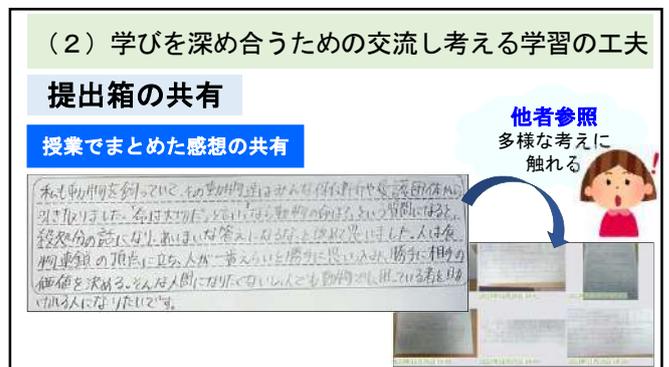
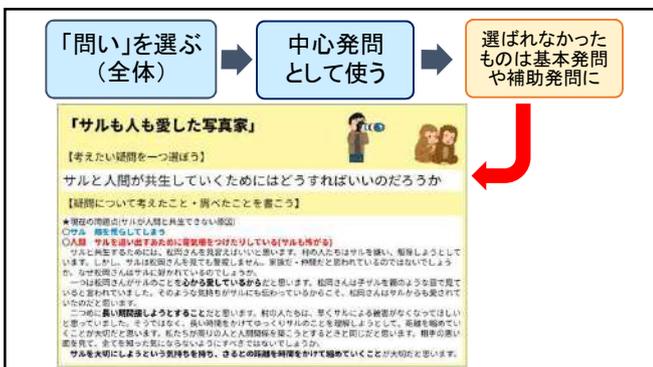
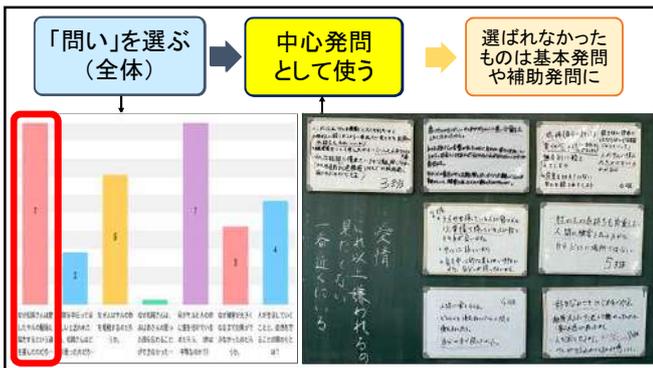
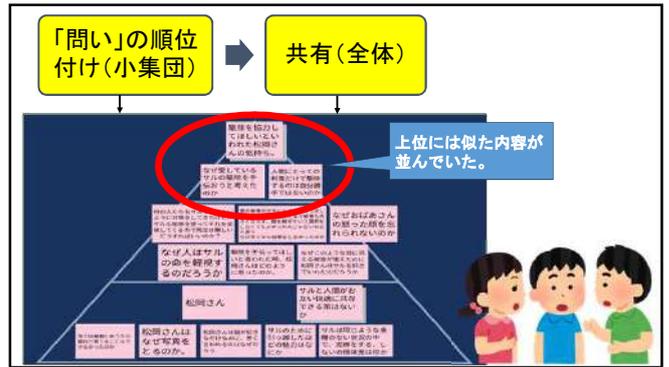
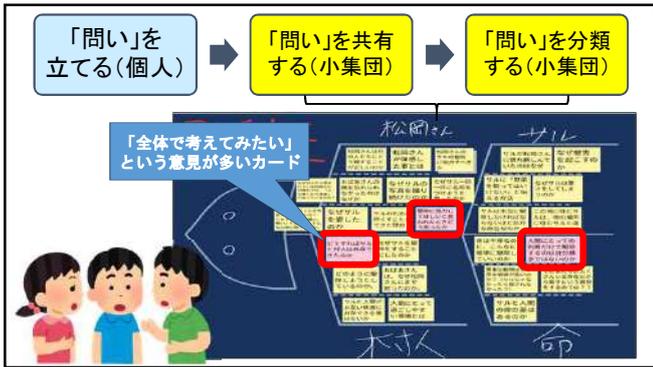
【その理由を書きましょう】
個人の思い入れなどに、すべて命の価値は変わるものではないかと思う中で、多少の差はあるだろうし、無意味な差はあってもいいと思います。
 でも、差が無くても高い地位のものが得られ、差がないとされる命を簡単に奪取することはあつたらぬことにも驚かすので、命に差はない方がいいと思います。（自分にとって善い善いものを奪取しなくて済むのを望むので、命を守るために差があつてもいいと思います。善いことです。）

「問い」を立てる(個人) → 「問い」を共有する(小集団) → 「問い」を分類する(小集団)

「サルも人も愛した写真家」を讀んで考えてみたいことを挙げてみよう

松岡さんは、サルが悪さをすることもかわらないう、親近感をもつのか。	イモをサルに食らされてしまったおぼあさんに理不尽に怒られてしまったときの松岡さんの気持ちはどういらしたんだろう。	村の財政を圧迫させるほどサルが人間を悩ませて悪さをしているのはなぜか。
松岡さんはサルの駆除をすると聞いてどんな気持ちになったのか。	松岡さんはサルの駆除に手を貸したのだろうか。	この地域でサルと人が共存できる方法はあるのか。

家庭学習



研究の成果

- 生徒全員が「問い」を持って授業に臨んだ
 - ➡生徒が持つ様々な探究心を呼び起こすことで、問題意識を高められた。
 - ➡主体的に学びを深め合うことにつながった。
- 思考ツールや共有ノートを用いた他者参照
 - ➡これまでより多くの意見に自由に触れることで、学び合いの質を高め、理解が深まった。

研究の課題

- 授業の組み立て方法の改善
 - ➡継続した実施、内容の精選、方法の検討
 - 1時間の授業内で十分に行えるのではないか。
- 主題を伝えずに「問い」を立てる場合の課題
 - ➡どのようなテーマになっても授業が展開できる心構えと準備、教材研究が必要

おわりに

魅力的な教材との出会い
他者との対話



道徳的価値について自己
の考えを問い直す

- ★松山の授業モデル等
- ★自己の指導力の向上
 - ・生徒が主体的に学びを深め合う授業
 - ・人間としてのよりよい生き方について考えを深めていく生徒の育成